

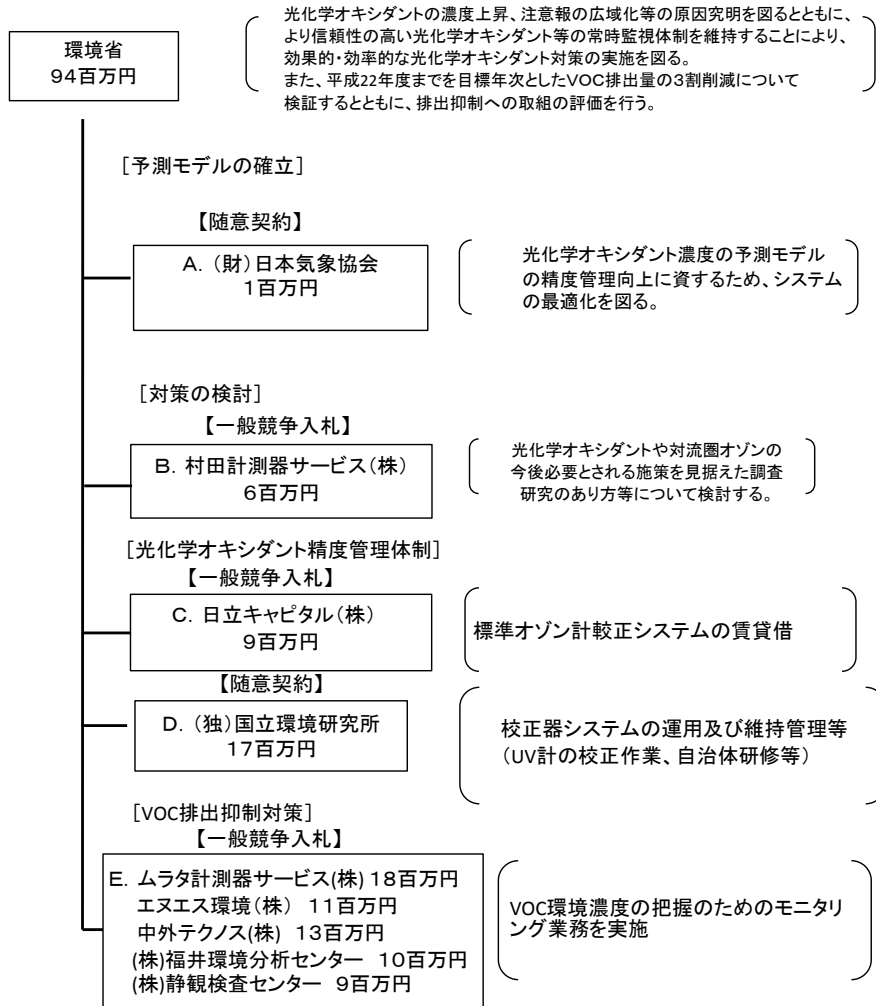
平成24年政事業レビューシート

(環境省)

事業名	光化学オキシダント対策推進費		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	大気環境課		大気環境課長 山本 光昭			
会計区分	一般会計		施策名	3-1 大気環境の保全(酸性雨・黄砂対策を含む)					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	大気汚染防止法第17条の3~15、22,23,24条		関係する計 画、通知等	常時監視に係る事務処理基準 環境大気常時監視マニュアルなど					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	光化学オキシダントの濃度上昇、注意報の広域化等の原因究明を図るとともに、より信頼性の高い光化学オキシダント等の常時監視体制を維持することにより、効果的・効率的な光化学オキシダント対策の実施を図る。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	平成21年度に構築した国際的に標準とされているオゾン測定器を基準とした光化学オキシダント濃度測定に係る精度管理体制を維持運営。 環境中のVOC濃度のモニタリングを実施するとともに、VOC対策のあり方等について検討を実施する。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
		当初予算	114	111	91	64	55		
		補正予算	0	0	0				
		繰越し等	0	0	0	0			
	計	114	111	91	64	55			
	執行額	112	53	94					
執行率(%)	98%	48%	103%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	環境基準達成率			%	0.1	0.1	0	100	
			達成度	%	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込 み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	VOC排出削減量(平成12年度比) ※目標年度:平成22年度			削減率 (%)	42%	44%	集計中	-	
					-	(30%)	-	()	
単位当たり コスト	3,523 (円/台日)		算出根拠	校正システム1台当たりの賃貸借に係る費用。 9百万円÷7台÷365日					
平成24-25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	環境保全調査費	64	55	VOC排出抑制対策推進のための支援及び普及啓発の終了などをし、必要最低限の要求とした					
	計	64	55						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・光化学オキシダントについては、国民の関心も高く、環境基準達成率も極めて低いため、ニーズも優先度も高い。 ・オキシダントのようは広域的な汚染で且つ、発生源寄与が未解明である物質について対策を検討するにあたっては、調査・研究・対策検討を集約して行うべきであり、国が行う事により、民間や地方自治体の情報や意見を中立的な立場で集約することができる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・競争入札を基本とし、業務を適正に遂行する上で、1社に限定される場合のみ随意契約した。 ・業務の完全な完了を確認してから支出を行っている。 ・仕様作成、積算算定の際に業務内容と費目・使途について確認している。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の先生等の意見を聞きながら、より実行力のある事業であることを確認している。 ・業務完了報告において、見込みにあった成果物ができているかを確認している。 ・互いに、事業内容の情報共有がされているため、適正な役割分担をしている。 ・今後の対策の検討に役立っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>光化学オキシダント濃度測定に係る精度管理体制の効率的・効果的な運用について、国立環境研究所及び各自治体と協議し、当該体制についての情報交換及び改良点等について検討するとともに、機器賃貸借等を長期契約とすることにより、経費の削減に努める。</p> <p>揮発性有機化合物(VOC)に係る大気汚染防止法の改正の附則において、施行後5年を経過した時点(平成18年施行)に見直しを行うことになっている。該当年度である平成24年度に見直しの検討を行うため、現行をレビューし、検討に必要な事項を整理する予定。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>他の常時監視に関わる事業と可能な限り整理合理化を図ること等で、調査箇所数や回数を見直し、概算要求額の縮減に努めること。支出の透明性を確保するためにも費目使途の把握に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
抜本的改善	<p>常時監視を始めとする事業内容の精査を行い、平成18年度から実施してきた「VOC排出抑制対策推進の支援及び普及啓発」事業を終了する等、事業内容全体の効率化を図った。</p>		
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	051	平成23年行政事業レビュー	039

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)日本気象協会			E.ムラタ計測器サービス(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	1		本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	18
計		1	計		18
B.村田計測器サービス(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	6			
計		6	計		0
C.日立キャピタル(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	9			
計		9	計		0
D.(独)国立環境研究所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	17			
計		17	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本気象協会	光化学オキシダント濃度の予測モデルの精度向上に資するため、システムの最適化を図る	1	随意契約	/
2					
3					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ムラタ計測器サービス(株)	光化学オキシダントや対流圏オゾンの今後必要とされる施策を見据えた調査研究のあり方等について検討する	6	4	100%
2					
3					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日立キャピタル(株)	Ox校正機器等の賃貸借	9	随意契約 (国庫債務)	/
2					
3					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	Ox校正システムの運用管理費	17	随意契約	/
2					
3					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ムラタ計測器サービス(株)	揮発性有機化合物の分析費【関東・甲信越ブロック】	18	6	95%
2	中外テクノス(株)	揮発性有機化合物の分析費【近畿・東海・北陸ブロック】	13	2	97%
3	エヌエス環境(株)	揮発性有機化合物の分析費【北海道・東北ブロック】	11	4	96%
4	(株)福井分析センター	揮発性有機化合物の分析費【中国・四国ブロック】	10	4	96%
5	(株)静観検査センター	揮発性有機化合物の分析費【九州・沖縄ブロック】	9	3	99%